

イベントカレンダー



参加費無料・事前申込

 主催・共催 ●新河岸川流域川づくり連絡会
 ●新河岸川流域総合治水対策協議会

新河岸川流域 フォーラム

つなげる流域
ひろげる備え

新河岸川流域内の関係機関が、日ごろの防災に関する取り組みを発表し、さまざまな世代が交流する場として新河岸川流域フォーラムを開催します。

■プログラム■（予定）

10：00 開会
 10：10 午前の部（現地見学、実践企画）
 （12：10 昼食・上映会）
 13：00 午後の部（講演、発表、パネルディスカッション）
 16：00 閉会

※当日は昼食をご持参ください。
 ※プログラムは現段階のものであり、今後変更する場合があります。

申込み・お問合せ 新河岸川流域川づくり連絡会事務局

■日本工営(株)都市・交通計画部
 防災マネジメントグループ 担当 鎌田、高橋
 TEL：03-3238-8257 FAX：03-3238-8239

事務局だより

第2～3回連絡会を開催しました！

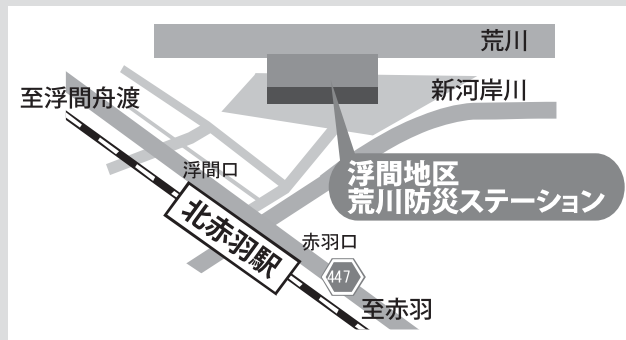
今年度2～3回目の新河岸川流域川づくり連絡会を開催しました。1月に開催予定の新河岸川流域フォーラムを控え、連絡会ではフォーラムの企画について様々な意見交換をおこないました。先般の東北大震災からの教訓など、防災の視点もふまえて、より多くの方々の参加いただけるよう、議論が尽きません。1月21日の開催を予定している新河岸川流域フォーラム。たくさんの方のお越しをお待ちしております。



第3回連絡会のようす

平成24年1月21日（土）
 10：00～16：00（受付 9：30～）
 浮間地区荒川防災ステーション
 （東京都北区1丁目）

※参加を希望される方は、氏名、職業／学校名、連絡先（住所、電話番号）、午前・午後の部への参加について下記の申込み・お問合せ先にご連絡ください。



『緑と湧き水環境フォーラム・和光』

日時 平成24年1月28日（土）10：00～16：30
 午前 白子・湧水群見学会10：00～（成増駅改札前集合）
 午後 講演会13：00～（会場：白子コミュニティセンター）
 主催 NPO法人 和光・緑と湧き水の会
 お問合せ 048-462-9912（高橋）

川づくり連絡会に参加してみませんか？

新河岸川流域川づくり連絡会は、原則第2火曜日または第2金曜日で年4回開催しています。参加希望の方は、下記連絡先までお問い合わせください。（開催場所はお問い合わせ時にお知らせします。）

しんぶん「里川」掲載情報を大募集します！

各流域や地域での活動報告やイベント情報を募集しています。身近な情報などをお手紙またはFAX・メールにて下記連絡先までお寄せ下さい。

■連絡先

新河岸川流域川づくり連絡会 事務局
 （国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所 調査課内）
 〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1
 TEL 03-3902-3220 FAX 03-3902-2346
 URL <http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/>
 E-mail arage-shingashi@ktr.mlit.go.jp

THE SHINGASHI BASIN NEWS 新河岸川流域しんぶん

発行 ●新河岸川流域川づくり連絡会（荒川下流河川事務所 調査課内）
 住所 ●東京都北区志茂5-41-1 TEL03-3902-3220 FAX03-3902-2346
 発行日 ●平成23年（2011）12月16日

VOL. 65



切り絵 毛利将範

目次

- P2 新河岸川流域の活動報告 in 2011
- P3 連載：気になる水循環(7)
- P4 イベントカレンダー、事務局だより
- P5 特集：私たちがつなぐ水循環

朝夕の空気がぐっと冷え込んできた今日この頃、気がつけば今年も残すところあとわずかとなりました。師走ということもあり、あわただしく過ごす日々が続きますが、一息ついて、今年の振り返りをしてみてはいかがでしょうか。

さて、今回の里川では、今年の夏から秋にかけて開催された川まつりについて、開催結果を紹介します。また、年が明けた1月には新河岸川流域フォーラムを開催予定です。奮ってご参加ください。



新河岸川流域の活動報告 in 2011

今年も、新河岸川流域の各地で市民を中心とした川の活動が活発に行われています。本号では、7月から11月にわたって流域の各川で開催された川まつりについて、元気に遊ぶ子供たちの様子などを中心に報告します。

落合川 「第18回わくわく川清掃&川あそび～元気を送ろう湧水の町、大槌町へ～」【主催】わくわく川清掃&川あそび実行委員会

7月16日夕方と17日の2日間、落合川沿いの不動橋広場で開催されました。今年の川まつりでは、河川の清掃や川遊びだけでなく、防災の視点をふまえた東久留米市の備蓄食料の試食や、東京消防庁による放水訓練などが行われました。また、東日本大震災により甚大な被害を受けた大槌町へ、うちわを送る取り組みも行われました。



柳瀬川（清瀬）「きよせ川まつり 2011」【主催】きよせ川まつり実行委員会

7月23日に、清瀬市の柳瀬川沿い台田運動広場で開催されました。参加者全員によるラジオ体操からスタートし、準備運動の後には毎年恒例の魚とりを行いました。魚とりやイカダ遊びで楽しんだ後は、イカダコンテストが行われました。今年も趣向をこらした素敵なイカダが見られ、下流からの強い風にも負けずに漕ぎ合いました。



東川 「東川・川まつり（身近な川しらべ）」【主催】東川を愛する会

7月23日に、所沢市の川端橋周辺で開催されました。水しらべでは、スタッフによるパック試験と透視度調査の説明を聞いたあと、実際に水質や生物について調査しました。また、さかな教室では、魚に見入りながら熱心に話を聞く子どもたちの姿がみられました。そのあと、カヌーやゴムボートを使った川遊びを楽しみました。



柳瀬川（志木）「こどもとおとなの自然塾『お魚と遊ぼう』」【主催】NPO法人エコシティ志木、(財)埼玉県生態系保護協会志木支部

7月24日に、志木中学校前の柳瀬川で開催されました。ゴミ拾いのあと、水生生物の観察が行われました。川中の石の裏に隠れている水生生物を見つけようと、子どもたちは熱心に活動していました。また、採集した水生生物、総合治水や柳瀬川についての話をスタッフに解説していただき、親子ともに、熱心に話を聞いていました。



黒目川（新座）「第13回わいわい川遊び『アユの棲む黒目川をきれいにして川で遊ぼう』」【主催】黒目川流域川づくり懇談会

8月7日に、黒目川（新座）で開催されました。手網を使って、魚とり名人に魚とりのコツを教えもらいながら、一生懸命に魚をつかまえていました。午後には、ゴムボート遊びとカヌー漕ぎで遊び、最後はスイカ割りを行いました。一刀両断、見事にスイカをとらえることができました。多くの方々が川と親しみ、夏を感じていました。



北川 「第16回北山わんぱく夏まつり」【主催】第16回北山わんぱく夏まつり実行委員会

8月7日に、北川の北山公園で開催されました。開会のあいさつのあと、スタッフにより外来生物についての説明が行われました。北川沿いの川歩きでは、多くの親子連れが参加し、網を片手に魚や底生生物を捕まえながら、ウォーキングを楽しみました。午後には、近くの八国山周辺での虫とりハイクを親子で楽しみました。



不老川 「第12回鳥になろう 魚になろう『大森の池まつり』」【主催】大森の池まつり実行委員会

8月7日に、不老川の大森調節池で開催されました。開会のあいさつのあと、川に入ってボート・カヌーのり、魚とりを楽しみました。イベントコーナーでは、不老川で採れた魚などの観察ブースや地元で採れた野菜ブースなどがみられました。また、南三陸町への義援金支援として、ボランティア活動（プレスレッドの販売）も行われました。



黒目川（朝霞）「黒目川・川まつり おとなも子どもも ハンディのある人もない人も」【主催】黒目川・川まつり実行委員会

8月28日に、黒目川の新高橋下流で開催されました。ゴミ拾いのあとに、参加者による魚とりを行いました。大きなウナギを捕えることができ、またザリガニ釣りも大盛況でした。また、今年は、河岸を利用したウォーターライダーもつくられ、子供たちは何度も滑って大はしゃぎ。午後にはタイヤボートやカヌーなどを楽しみました。



富士見江川 「富士見江川～江川のさかなしらべ～」【主催】ふじみ環境クラブ、(財)埼玉県生態系保護協会富士見支部

9月11日に、山崎公園で開催されました。つかまえた魚は、「お魚しらべ」により、観察しました。今年は、体長約50cmもある巨大ナマズにも会うことができました。川まつりの最後には、川沿いのゴミ拾いをしてきたボーイスカウトと合流し、ボーイスカウトの子供たちは水槽の中の見慣れない魚たちに大興奮でした。



空堀川 「第13回空堀川川まつり」【主催】空堀川川まつり実行委員会

9月11日に、空堀広場で開催されました。魚の放流やカヌー体験などが好評で、大勢の親子連れが楽しそうに参加していました。会場にはフリーマーケットをはじめとして様々な店が出店しており、多くの参加者が川まつりの雰囲気を楽しんでいました。他にも、カモレースの実施や華やかで迫力のある阿波踊りが披露されました。



越戸川 「第15回越戸川まつり」【主催】和光自然環境を守る会

10月15日に予定していた越戸川まつりですが、あいにくの雨のため、川遊びは中止となりました。しかし、朝早くから準備していたスタッフの方々により、演奏会と売店でまつりを開催することができました。悪天候のなか、参加者と共に川以外でステキな演奏に独唱、みんなであふれんぼさを合唱して、まつりの雰囲気を満喫しました。



白子川 「白子川源流まつり」【主催】第11回白子川源流まつり実行委員会

10月23日に、大泉井頭公園で開催されました。開催のあいさつのあと、はらっぱ音楽隊によるコーラス演奏、東京都下水道局の方による下水道談話、白子川調べ発表など、さまざまな取り組みが発表されました。最後には、ゴーバックサタデイズによる演奏会が行われ、秋の風とともに、心地よい演奏でまつりを締めくくりました。



黒目川（朝霞・秋）「黒目川・秋の川まつり 2011」【主催】埼玉県朝霞県土整備事務所

11月13日に、朝霞県土整備事務所で開催されました。東洋大学の学生によるジャズ演奏など、さまざまな催しが開催されました。水生生物の観察や水質調査をはじめとして、消防署や警察署の協力のもと、消防車、救急車等の展示や振り込み詐欺防止に向けた演劇などが行われ、子どもたちは熱心に話を聞いていました。



※今回は流域内での活動の一部を紹介しました。流域内ではその他にも様々な活動が実施されています。

気になる水循環（7）～水循環Q&A～

事務局では、平成22年度に開催した川でつながる発表会の発表校のみなさんから、「水循環再生」に関する質問をいただきました。いただいた質問に対して、今回は、荒川下流河川事務所さんから回答をいただきました。

Q 所沢市立上山口中学校の生徒さんからの質問

水の循環再生をしないと、私たちの生活はどうなってしまうか？

A 荒川下流河川事務所さんに答えていただきました。

畑だった土地に家が建ったり、道路が舗装されたりすると、雨の浸みこむ場所も減ることになります。雨の浸みこむ量が減ると、湧水が涸れ、地下水が下がったりします。その結果、普段の川の水量が少なくなり、魚や水生昆虫などが住みにくくなってしまいます。また、植物なども育たない環境となったりします。生活に必要な水道水の取水にも影響が生じてしまう可能性もあります。





私たちがつなぐ水循環



新河岸川流域に降った雨水は、地下にしみこみ、川となり海へと流れていきます。海へ流れた水はやがて蒸発し、雲となり、また雨になって地上に降ります。

このような水の流れる経路や水量をまとめて『水循環』と呼びます（詳しくは里川57号、63号）。

しかし、近年、畑や田んぼが少なくなり建物や道路となったことで、昔より雨水が地下にしみこみにくくなってしまいました。今回の特集では、新河岸川流域の『水循環』をよい状態にするために、私たちにどのようなことができるのかを紹介します。

私たちにできる水循環の再生って何があるの？

●すぐにできる！

＜食事のときに…＞

- ✓ 米のとぎ汁を植木の水やりに利用する。
- ✓ 食事や飲み物は必要な分だけつくる。
- ✓ 油を使いきる。（余った油は、古新聞などにしみこませ、燃えるごみとして捨てる。

＜お風呂・洗濯のときに…＞

- ✓ 大雨のときには、お風呂や洗濯を控える。
- ✓ お風呂の残り湯を洗濯に利用する。

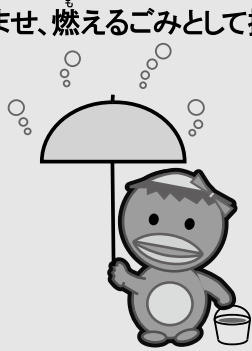
＜庭やベランダの手入れのときに…＞

- ✓ 自宅の庭やベランダで植物を育てる。
- ✓ バケツなどに雨水をためる。
- ✓ 地下水は必要な分だけ、なるべく大切に使う。

ためた水の利用方法には、次のようなものがあるよ。

- ー 植物への水やり
- ー 道路への打ち水（ヒートアイランド現象の抑制）
- ー トイレ、洗車の水に利用 など

がんばり度
（手間のかかり度合）

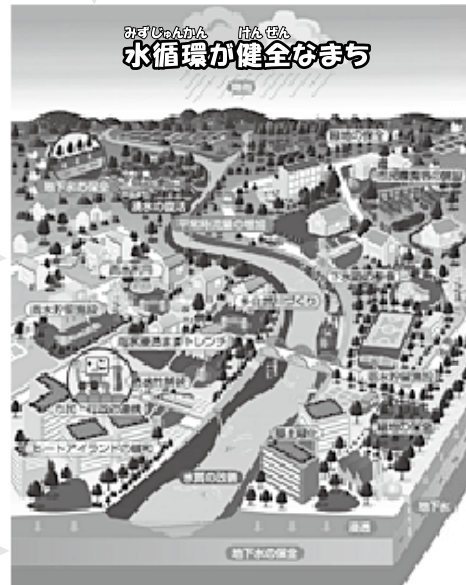


●身近なところでできる！

- ✓ 生垣をつくる。
- ✓ 雨どいへ砂利を敷いて屋根の雨水を流す。
- ✓ 節水型機器を利用する。

水道にとりつける節水型機器の一つに、節水コマがあるよ。台所、洗面所のように流し洗いするところにとりつけると、1分間に最大で約6リットル節水ができるよ。（出典：東京都水道局HP）

がんばり度



●みんなといっしょにできる！

- ✓ 里山（平地林、斜面林）の手入れ
- ✓ 緑地、農地、河畔林の手入れ
- ✓ 川や公園の手入れ
- ✓ 地域の湧き水の量の確認
- ✓ 緑地保全活動などのイベントへの参加

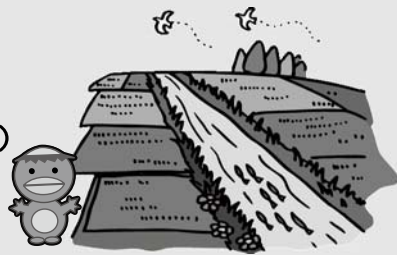
緑地、農地の保全が進めば、いいことがたくさんあるよ。

- ー 川の水がきれいになる。
- ー 生き物が増える。（生物多様性）
- ー 災害に強くなる。（都市の防災性の向上）
- ー 遊び場が増える。（レクリエーション活動の場の創出）

がんばり度



草刈りの取り組み



●もっと流域に貢献できる！

- ① 自宅に雨水浸透ますを設置する。
- ② 自宅に雨水貯留タンクを設置する。
- ✓ 屋上緑化をする。

雨水浸透ますなどの普及が進むと洪水時の安全性が上がります。ひとりひとりの努力が自分たちの暮らしている流域を守ることにつながるんだね。

がんばり度



雨水浸透ます



雨水貯留タンク

実は ①をやいやすくするため、行政の支援があるよ！

— 新河岸川流域の助成制度 —

● 雨水浸透ますに関する助成制度

地下に雨水を浸透させるための施設で、新たに設置する場合に自治体から設置するための費用の一部や材料を助成してもらえる制度。

● 雨水貯留タンクに関する助成制度

雨水を貯留することができる施設で、新たに設置する場合に自治体から設置するための費用の一部を助成してもらえる制度。

■ 助成制度の実施状況（平成23年12月時点）

雨水浸透ます

所沢市、入間市、川越市、狭山市、志木市、板橋区、北区、練馬区、小平市、立川市、西東京市、東久留米市、東村山市

雨水貯留タンク

所沢市、入間市、川越市、狭山市、志木市、新座市、板橋区、北区、練馬区、東村山市

※ 助成制度の詳細内容は、お住まいの自治体ホームページなどでご確認ください。

